

越中守源綱利と肥後も光尚の子なり  
を——め六九とつふ慶安三年八条に  
て家をはき父の遺願肥後の國で錫を  
り謙意二年十二月従四位下に叙し  
侍従に任を元禄九年十二月左少将  
にまゝみ正徳二年七月被任——同四  
年十一月十二日七十二歳に——卒を  
一 細川六九越中守  
綱利 明暦年中大火のこゝろ

幼弱なりし若干の大勢を率し西  
丸市城下に集たりし

大猷公上玄の只とくも  
家康のありしゆなり

家長澤村字右衛門の使者とくく光中

ましく達するも私宅焼矣すといへ

とも家人を具し市城下に馳参し嚴令

に赴りし何不に〜と敬告固はるへふ

しとかけり 君臣言行録



